

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

読み聞かせを通じた人と人のふれあい



WILLおかべ  
ぴょんぴょんブッククラブ  
副会長  
矢内満さん  
会長 副会長  
加藤温子さん 角田久美子さん

## 祖父母目線で子どもを支援

「読み聞かせの活動を通じて、子どもたちとふれあっていると街で声をかけてくれたり、会いに来てくれたりするのでとてもうれしくやりがいを感じますね。」と笑顔で語るのは、岡部地区の学童保育室で本の読み聞かせを中心に活動を行う『WILLおかべぴょんぴょんブッククラブ』会長の加藤温子さんです。

平成23年に活動を開始した『WILLおかべぴょんぴょんブッククラブ』は、祖父母のような存在で地域の子どもたちとふれあいを大切にすることをモットーに、現在15人が活動をしています。

学童保育室での本の読み聞かせが活動の中心ですが、長期休業中にはお手玉などの昔遊びや折り紙を使った家族へのお便り制作

なども行い、ふれあいを通じたコミュニケーションと子どもたちの心のケアも大切にしています。

今後の活動について伺うと「現在も、公民館まつりなどで岡部の昔話をメンバーで読み聞かせしていますが、これからも地域に根差した活動を行い、会のメンバー全員で岡部地域の子どもたちを見守り支えていきたいですね。」と活動への思いを教えてくださいました。

核家族化が進む中、地域の子どもにとって祖父母のような存在で関わり、成長を見守る『WILLおかべぴょんぴょんブッククラブ』。

これからも、子どもたちと顔と顔を合わせた地域密着の支援を続けていきます。



▲『2019年度伊藤忠記念財団子ども文庫助成事業』において助成贈呈先として選出されました。

# 『農業』で

# 深谷を元気に!

深谷市では、『儲かる農業都市ふかや』の実現を目指し、『農業』を核とした産業のブランディングを進めています。問い合わせ/産業ブランド推進室 ☎577 - 3819  
産業ブランド推進室 検索

深谷市の新たな観光回遊の取り組みである『ベジタブルテーマパーク フカヤ』では、野菜や農業を楽しめる観光コンテンツの開発へ向けて、市内の生産者、事業者の皆さんと一緒に取り組みを進めています。

その一環として、深谷市の農畜産物や加工品をふるさと納税のお礼品として掲載し、ふるさと納税ポータルサイトを通じて全国の消費者に商品の魅力をPRし、商品開発や販路拡大に向けた支援を行っています。

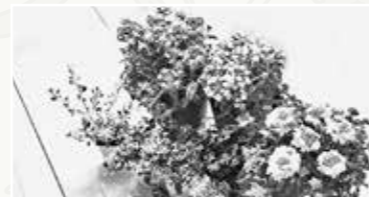
## 深谷市ふるさと納税人気のお礼品



▲冷凍大和芋とろろパック詰め合わせ



▲深谷ねぎ



▲季節の寄せ植えセット



▲深谷牛

## ふるさと納税お礼品協力事業者募集中!

市では、お礼品協力事業者を随時募集しています。一緒に深谷の魅力を発信しませんか?

### 【参加のメリット】

- ①WEBサイトなどを通じて商品やサービスを全国にPRできます。
- ②販路拡大につながります。
- ③お礼品の魅力向上につながるサポートを行います。

お礼品の要件や申し込みなど詳しくは右記のQRコードから市ホームページでご確認ください。



## ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

# ふっか 散歩

📍 深谷市役所 本庁舎



今日は、市役所の本庁舎にやってきたよお～。現在、この建物の隣には、新しい建物を建てているんだってえ!この建物で市役所のお仕事が行われるのは7月までなんだよ。早速、中に入って見てみよう!



◀建物の中で、いろんなふっかちゃんを発見!ふっかちゃんが壁と一体になっていたり、階段にデザインされていたり、いろんなところでふっかちゃんを見ることができよ。



▲窓口の様子だよお。お客さんがどこで手続きをすればいいのかわかるように、すら～っと看板がかかっているね。窓口には、いろいろなお知らせなども貼られていたよお。ふっかちゃんもよく確認しなきゃ!

### ふっかちゃんの つぶやき

5月5日は、子どもの日!お空にこいのぼりをたくさん泳がせて、みんなの成長をお祝いしたいねえ!



## 心の広場

大寄小学校2年(現3年)  
金谷 実晃さん



### めいっことあそんだよ

わたしは、おねえちゃんの子どもとよくあそびます。その子は、わたしがつかっているおもちゃをすぐにとってしまいます。でも、おもちゃを大せつにつかってくれるので、わたしは、「またとられちゃった。」と思うけど、あんしんして、ちがうおもちゃであそべます。でもときどきこわしちゃうこともあります。あるとき、「こわれちゃった。」といったのでわたしは、「こわれちゃったの?それならおねえちゃんがおおしてあげようか。」とわたしがいうと、「うん。」

と言いました。そして、わたしが、なおしていた時、おねえちゃんの子どもが、「ありがとう。」とかわいい声で言ってくれました。わたしがなおしたころは、おねえちゃんの子どもは、丸くなってねむってました。なおしたおもちゃをまくらもとにおいて、わたしもねむってしまいました。わたしがそっとおきて、おねえちゃんの子どもだけにしてあげて、わたしは、「よくねむってね。」と言いました。しばらくしておねえちゃんの子どもがうれしそうにおきてきて「おねえちゃん、ありがとう。」と言いました。わたしは、「どういたしまして。」といって、また二人であそびました。わたしは、「やっぱり、いっしょにあそぶってのいいな。」と思いつつあそびました。わたしは、おねえちゃんの子どもを本とうの妹だと思っています。だから、これからも「妹」を大せつにしたいと思います。やさしく声をかけたり、たくさんあそびたいです。